

3年ぶりの春会式



聖徳太子の御命日である2月22日と翌23日に、太子春会式が3年ぶりに開催され、お手伝いの方をはじめ、地域の方々のご協力で無事終わることができました。両日とも天気にも恵まれ、境内には多くの露店が並び、約60人のお稚児さんが参加されました。また23日には14回目となる採灯護摩も行われ、多くの方に火渡りも体験していただきました。



大般若轉讀会

2月7日10時半より聖徳殿にて大般若轉讀会が行われました。この法要は地域の安穩、五穀豊穡を祈願いたします。顕彰保存会の皆様にご参加いただき、3年ぶりに開催することができました。ご参加いただいた自治会長様、お手伝いいただいた方々、ありがとうございました。



節分会



2月3日13時より阿弥陀堂（聖徳会館）にて節分会が行われました。皆さんで般若心経を誦誦し、御札を加持祈禱したのちに、落語を2席楽しんでいただきました。3年ぶりに桂九雀さんにもお会いできました。九雀さん、九寿玉さん、ありがとうございました。

太子和讃の会

2月18日13時より聖徳殿にて、太子和讃の会が開催されました。文化協会の方々による献花・献茶に続いて、法隆寺僧侶の方々にお勤めいただきました。



3月の予定

- 10日頃～ 春彼岸参り開始
- 12日 9:00 境内清掃 (檀家さん)
- 16日 10:00 御詠歌の練習
- 21日 法隆寺奉献旅行 (顕彰保存会)
- 22日 14:00 春彼岸法要
- 28日 10:00 護摩祈願法要

4月の予定

- 9日 9:00 境内清掃 (檀家さん)
- 17日 13:00 観音会
- 20日 10:00 御詠歌の練習 (未定)
- 23日 9:00 境内清掃 (檀家さん)
- 28日 10:00 護摩祈願法要

各行事への皆様のご参加を宜しくお願い致します。

十七条憲法

シリーズ①

斑鳩寺では昨年11月に聖徳太子一千四百年御聖憲法要を執り行い、大きな節目を迎えました。しかしこれもまた歴史の1ページにすぎません。一千五百年に向けて、改めて聖徳太子の御精神を皆さんに知っていただくために、十七条憲法をシリーズで紹介していきます。

第一条の冒頭はよく知られています。「和を以て貴しと爲す」です。漢文では「以和爲貴」と書きます。曾祖父の大谷智眞の書が、現在でも太子町にある御菓子司さくらや様で熨斗としてご使用いただいております。字の如く「和」という概念を大切にしないさい、という教えが憲法第一条に出ています。氏族間での争いが絶えない状況などに悩み、導き出した答えが「和」ということになったのでしょう。次に、忤つこと

無きを宗とせよ、と続きます。「和」の精神が減じると、そこには「争い」が待ちうけています。争いが起こる理由として聖徳太子は、人みな党あり、また違れるもの少なし、と述べています。人は集団を作りますが、その中に真の人格者は少ないものです。そんな集団ではいつか仲間内で争いが起こります。また集団同士の争いも起こります。では「争い」を無くすために必要なことはなにか。十七条憲法の中で聖徳太子が一貫して述べていることは「議論」です。その議論で大切なことが「上和ぎ下睦びて」です。現在でも日本人は議論が苦手です。周りの意見に合わせることで良いとされたり、反対意見を述べることが悪いようにされることがあります。また年配者の意見が正しく、若手は黙つていなさい、という文化もあるでしょう。上とか下ではなく、他を認め、相手を敬つことができれば、良い「議論」ができるでしょう。

ロシアとウクライナの戦争から1年が経過しました。何かよい議論ができないものか、終結を祈るばかりです。

比叡山大護摩のお誘い 護摩木の募集

例年3月13日に比叡山で行われていた大護摩法要が今年は5月20(土)21(日)の2日間行われます。斑鳩寺では5月21日(日)に参拝を計画しています。回峰行者が集う比叡の大護摩にぜひご参加ください。詳細に関してはお寺までお問い合わせください。また世界平和・除災招福祈願大護摩に際し、添護摩木を受け付けています。一願1,000円です。申込用紙にご記入いただきお寺までお持ちください。(郵送・FAXも可)



観音会

斑鳩寺では毎年4月17日13時から観音会を行っています。三重塔の東の西国観音霊場の観音さま、本堂に掲げられている観音さま(木札・多田サク氏寄贈)の前でお勤めをした後、阿弥陀堂(聖徳会館)で全員で観音経をお唱えします。御詠歌の奉納もありますので、ぜひお越しください。



お彼岸のお参り

3月はお彼岸のお参りがあります。お伺いする方々、よろしくお祈りします。

皆さんからの質問を集めてQ&Aのコーナーを作りたいと考えています。簡単な質問から難しい質問、今さら聞きにくい事など、なんでも結構です。お寺に直接伝えていただくか、メール・FAXで募集しますので、なんでも気軽に聞いてください。電話での質問はご遠慮ください。

次回の「和」発行は5月の予定です。お楽しみに。

